

哲學研究

第七卷第四冊

第十七號

大正十一年四月一日發行

| | |
|----------------------------|------------|
| 社會と個人…………… | 文學博士 西田幾多郎 |
| カント哲學に於ける「實踐的」の意義(承前)…………… | …………… |
| …………… | 文學士 務臺理作 |
| 文化價值體系問題(完結)…………… | 文學博士 米田庄太郎 |
| 教育強制の權利根據に關するコーン氏の說…………… | …………… |
| …………… | 文學士 伊藤猷典 |
| 彙報、新著紹介其他…………… | …………… |

京都帝國大學文學部

京都哲學會

京都哲學會規則

- 第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス
- 第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其普及ヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ
- 一、毎月一回研究会ヲ開ク
- 一、毎年春秋二回公開講演會ヲ開ク
- 一、毎月一回雜誌『哲學研究』ヲ發行ス
- 第四條 本會事務所ヲ京都帝國大學文學部内ニ置ク
- 第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メニ左ノ役員ヲ置ク
- 一、委員(若干名)京都帝國大學文學部哲學科教官及委員會ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ
- 一、書記(一名)委員會ニ於テ囑託ス
- 第六條 本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得
- 學校、圖書館、教育會、其他ノ團體ハ其團體ノ名ヲ以テ入會スルコトヲ得
- 第七條 會員ハ會費トシテ年四圓四拾錢、前後二期ニ分チテ前納スベキモノトス
- 第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得且ツ雜誌『哲學研究』ノ配付ヲ受ク
- 第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

京都哲學會役員

委員

| | | | |
|----|------|----|-----|
| | 文學士 | 植田 | 壽藏 |
| | 文學博士 | 狩野 | 直喜 |
| | 文學博士 | 小西 | 重直 |
| | 文學士 | 澤村 | 專太郎 |
| | 文學博士 | 高瀬 | 武次郎 |
| | 文學博士 | 田邊 | 元成 |
| | 文學士 | 千葉 | 胤成 |
| | 文學博士 | 朝永 | 三十郎 |
| | 文學博士 | 西田 | 幾多郎 |
| | 文學博士 | 野上 | 俊夫 |
| | 文學博士 | 波多 | 野精一 |
| | 文學博士 | 深田 | 康算 |
| | 文學博士 | 藤井 | 健治郎 |
| | 文學博士 | 松本 | 文三郎 |
| | 文學士 | 務臺 | 理作 |
| | 文學博士 | 米田 | 庄太郎 |
| 書記 | 寶嚴 | 方夫 | |

たものとも考ふることが出来るからである。只かゝる民族的融合が何れの時代に於て行はれたかに就いては昨年度に於ても學界の一大論争となつた事で門外漢たる吾人の今は是非をなすへき時期でない。

要するに著者が記紀に對する一々の批判の内容に對しては人々種々なる異議が起され得るであらうが然し記紀が主として皇室を中心とする物語であつて一般歴史としては最も不確實なることを有力に明證せる暗示的なる創見にみちた好著作として國史研究家は申すに及ばず、我國に於ける社會史、風俗史、道德史、文學史、文化史等の特殊史研究家の是非一讀すべきものであらう。東京洛陽堂發行。定價金四圓五拾錢。菊版五百二十八頁。(銅直 勇)

寄贈書籍雜誌

改刷經濟哲學の諸問題

法學博士 左右田 喜一郎著
東京 岩波書店發行

哲學の一領域としての
對象論の研究

法學士 田村 徳治著
京都 内外出版會社發行

哲學雜誌 丁酉倫理講演集、心理研究、東洋哲學、六合雜誌、
日華公論、教育研究、内外教育評論、學校教育、教育、教育學術
界、教育時論、國際聯盟、教育界、精神運動、

前 號 目 次

| | | | |
|---|-----------------------------|-----------------------------------|-----------------------------|
| カント哲學に於ける「實踐的」の意義…………… ……………文學士 務臺理作 | 精神力學…………… ……………文學士 檜崎淺太郎 | ゼリオニーの社會生理學…………… ……………文學士 銅直 勇 | 朱子の禮說…………… ……………文學士 浦川源吾 |
|---|-----------------------------|-----------------------------------|-----------------------------|

告 會

一、本會へ入會希望ノ方ハ直接本會宛テニ規定ノ會費（前表紙裏ニアリ）御納付ノ上御申込被下度候
 一、會員ニシテ轉居ノ節ハ直チニ其旨御報知被下度候
 一、會費ハ振替口座大阪參〇六六番、京都哲學會宛テニ御拂込被下度候
 一、本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介・新刊書・寄贈雜誌等ハ凡テ本會宛テニ御發送被下度候
 京都帝國大學
 文學部内 京都哲學會
 振替口座大阪參〇六六番

註 文 規 定

◎會員にあらざる講讀者の御註文及び廣告に關する件は内
 外出版株式會社へ御申込下され度候
 ◎本誌の御註文はすべて代金郵税共前金にて御送り下さるべく候
 ◎振替貯金にて御送金は（振替大阪三二九五番三三三二
 寄東京三九三一番）内外出版株式會社宛に願上候
 ◎前金切れの場合に帶封に「前金切」の印章捺致すべきに
 付直に御拂込下され度候
 ◎特に請求書及領收書等を要する場合は郵券參錢御送付下
 され度候

定 價

| | | | |
|-----|---|--------|-----|
| 册 | 數 | 定 價 | 郵 稅 |
| 一册 | 册 | 金四拾錢 | 金壹錢 |
| 六册 | 册 | 金貳圓四拾錢 | 不申 |
| 十二册 | 册 | 金四圓八拾錢 | 不申 |

廣告料

一頁 金參拾圓 半頁ハ取扱不申

大正十一年三月廿八日印刷納本
 大正十一年四月一日發行
 第七十三號 第七卷
 第四册

不許複製
 禁轉載

編輯者 京都帝國大學文學部内 京都哲學會

右代表者 寶嚴方夫

發行者 大谷仁兵衛

印刷者 須磨勘兵衛

印刷所 京都市北小路通新町西入
 京都市西洞院通七條下ル

發行所

京都市下京區 西洞院七條下 内外出版株式會社

振替口座大阪三二九五番
 東 京三九三一番

發賣元

京都市下京區西洞院通七條下 内外出版株式會社
 京都市京橋區加賀町十番地

賣捌所

（東京） 東京堂、東海堂、北隆館、
 上田屋、至誠堂（大阪） 盛文館、
 三文社（神戸） 寶文館、川瀬書店
 （京都） 共盛社